



# 慈・楽の心

法人理念  
「慈」とは、慶ぶ、愛する、大切にすること  
「楽」とは、心身が安らかで楽しい

発行：社会福祉法人 慈楽福祉会

法人本部：  
広島市安芸区中野三丁目9番5号 ■設立/昭和50年6月10日  
TEL(082)893-6606 FAX(082)893-6608 URL http://www.jiraku.or.jp

第86号 2012年(平成24年)7月1日



あつ〜い  
**夏祭り**  
7月22日(日)16時30分～  
安芸中野事務所

## 今年もやります

まもなく夏本番。いかがお過ごしでしょうか。本部・安芸中野事業所では恒例の夏祭りを開催いたします(雨天決行)。暑さを吹き飛ばし、楽しい一夜を過ごしていただけ、職員一同で準備に当たっています。

12回目となる今年の目玉は昨年にも増してのステージの充実と、模擬店の増設。慈楽福祉会としても、1年間で最大のビッグイベントになります。歓談スペースの確保や、分かりやすい会場作り、さらに福祉相談窓口の設置など、準備に余念がありません。さらに、チケット販売で長蛇の列を作ってしまった昨年の反省し、受付の充実と心温まる対応にも心がけたいと意気込んでいます。



「えすがた女房」「たべられやまんば」など、昔懐かしい紙芝居を作った方、3名の方、七色の声を使い分けて、面白おかしく披露してくださいませ。

「おたけがた女房」「たべられやまんば」など、昔懐かしい紙芝居を作った方、3名の方、七色の声を使い分けて、面白おかしく披露してくださいませ。

「おたけがた女房」「たべられやまんば」など、昔懐かしい紙芝居を作った方、3名の方、七色の声を使い分けて、面白おかしく披露してくださいませ。



### 本部・安芸中野事業所

〒739-0323 広島市安芸区中野三丁目9番5号  
TEL(082)893-3360 FAX(082)893-0522  
E-mail/akinakano@jiraku.or.jp

- ケアハウス ●法人本部
- 特別養護老人ホーム
- ショートステイ
- デイサービスセンター
- ホームヘルパー
- 居室介護支援事業所
- 7、8月行事
- 平和公園献花
- 夏祭り
- 尊念寺盆踊り法要
- スイカ割り
- 花火大会
- カーブ観戦



## にぎやか「ピア祭り」

観音事業所

五月晴れの5月20日(日)、恒例となりました「ピア祭り」が開催されました。特に今年はピア観音10周年の記念として、先着50名様に紅白饅頭のプレゼントも行っていただきました。

「アンサンブル ベルカノン」様は、マンドリンで懐かしい歌をたくさん演奏していただき、口ずさむ方、マイクを片手に大熱唱される方も見られました。「ハワイアン愛好会」様はフラダンスを披露され、南国の雰囲気を感じることができました。「そよ風」様の日本舞踊はしつとりと、華やか。うっとり見とれる方も多かったです。

「アンサンブル ベルカノン」様は、マンドリンで懐かしい歌をたくさん演奏していただき、口ずさむ方、マイクを片手に大熱唱される方も見られました。「ハワイアン愛好会」様はフラダンスを披露され、南国の雰囲気を感じることができました。「そよ風」様の日本舞踊はしつとりと、華やか。うっとり見とれる方も多かったです。



このころ、骨密度や血管年齢測定など、健康相談は待ち時間が出るほどの盛況ぶりでした。

入所のお客様による「割烹着交流会」も参加。手際よくヤキソバを作りました。料金計算などもすべてお客様が行い、笑顔で楽しく店番をされていました。さすがに疲れが出たのか、その夜は早々の就寝となりましたが...

今年はいくつかのお客様も多く参加され、「また来年を楽しみにしよう」と、職員と名残惜しげうに会話される姿が印象的でした。

地域の方々やボランティアさんをはじめ、皆様のご協力で無事に第3回ピア祭りを終えることができました。この場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。来年も職員一丸となって、さらに楽しい時間を作っていきたいと思います。どうぞ、ご期待くださいませ。

海田じらく房では、さまざまな年間行事を企画しています。「お楽しみ一座」など、多くのボランティアの方にもご来訪いただいておりますが、今回は朗読の会「やまびこ」様においでいただきました。

奇数月の第3木曜日に、紙芝居や体操を行っていただくことになり、今回が初めてのご来訪。「人生は一度きり。どうせなら楽しく、頑張り過ぎず、肩肘張らず。でもやってみれば、ちょっと心地いい」というのが、「やまびこ」様のモットーだそうです。



「やまびこ」様をお迎えして

朗読の会

「やまびこ」様をお迎えして

朗読の会

「やまびこ」様をお迎えして

朗読の会



### 海田事業所(じらく房)

〒736-0022 安芸郡海田町蟹原二丁目6番2号  
TEL(082)847-5637 FAX(082)847-5638  
E-mail/kaitajirakubou@jiraku.or.jp

- 小規模多機能型居宅介護
- 7、8月行事
- 七夕会
- 朗読の会
- 蟹原地区盆踊り
- そうめん流し
- お楽しみ一座
- ピヤガーデン

リハビリは日本舞踊で

瀬野川ホーム 岩志 ヤス工様 (98歳)



瀬野川ホームに入所され、早2年が経ちました。寅年生まれ、しかも五黄の寅ーシャキシャキの98歳です。

いつも面会に来られる息子様が、7人の子どもに恵まれたんですが、36歳の時に連れ添いを亡くし、泣く暇もなく子ども7人を必死で育ててくれました。その子どもたちをすでに4人も亡くし、あつという間に歳を取り、98歳を過ぎていました」と話してくださいました。

70代前半でカラオケを習い始め、カラオケメンバーたちと歌を楽しみ、70代後半は日本舞踊。男踊りのレッ



この号が完成間近に岩志様が急逝されました。ご家族のご意向で、敢えてそのまま掲載させていただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

スンを月2回、可部の方まで受けに行かれていました。そして発表会にも参加されるようになり、福祉センター・公民館・郵便貯金ホールなどで披露。発表会の度に家族で出席し、楽しまれていたそうです。着物、小道具の三度傘、槍、扇子、踊り用のカセットテープ、節入り歌詞ブックなどが自分の頭の上に並び、日本舞踊が生活に欠かせない存在になっていたようです。

ホームでも、カラオケ大会で息子様と「旅の夜風」を歌われたり、リハビリ室で扇子を片手に「岩志様流」踊る「リハビリ」を実践し、他のお客様を楽しませてくださいました。

法人自慢の職員を紹介!

行くぞ、全国大会!

上田 晶 (調理主任・58歳)

レストランや食品工場を経て、4年前からピア観音のお世話になってます。若く見えますが、2人の孫を持つおじいちゃん。以前は休暇を取るのが思うに任せませんでした。が、確実に休暇が取れるピア観音の労働環境に、とても満足しています。

ピア観音ではいろんな行事が企画され、職員全員で仲良く参加しています。お祭り大好きな私は、血が騒ぐことも多くなりました。

現在、安佐南区で活動している「安パレールボールスポーツ少年団」の、小学6年生女子チームの監督をしています。このチームは毎年県大会のベスト8に名前を連ねています。が、今回は県予選を勝ち残り、全国大会の予選決勝トーナメントに出場することになりました。老後の楽しみ(?)となりつつある監督業。職場の皆さんに迷惑をかけながらも、



全国大会出場を目指して頑張っています。

でも、私の頭の中はバレーボールチームのことだけではありません。慈楽福祉会では職下が難しい方のために、「やわらかじらく食」の導入を進めています。味も見ればよい食事の開発に、力を注ぐ日々です。

これからも仕事に、バレーボールに邁進しますので、応援、よろしく願います!

観音事業所(ピア観音)

〒733-0036 広島市西区観音新町一丁目7番40号  
TEL (082) 503-7772 FAX (082) 503-7774  
E-mail/piakannon@jiraku.or.jp

- 介護老人保健施設
- 通所リハビリテーション

7・8月行事

- カーブ観戦
- 新町盆踊り大会
- ピアガーデン
- 割烹着交流会
- 喫茶キリマンジャロ

ご存知ですか? 本部より

介護保険の加入者(被保険者)とは?

今回は「介護保険制度の加入者(被保険者)」について、簡単に説明をします。

介護保険制度に加入し、被保険者となる方には、第一号被保険者と第二号被保険者があります。

第一号被保険者は65歳以上の方で要介護状態の方(寝たきり、認知症等で常に介護を必要とする方)、あるいは要支援状態の方(家事など日常生活に支援が必要な方)となっています。

第二号被保険者は40歳以上65歳未満の医療保険に加入している方で、加齢が原因とされる病気(16の特定疾病)例えは末期がん、関節リウマチ、骨折を伴う骨粗鬆症、パーキンソン病、脳血管疾患、初老期における認知症など)により、介護や支援が必要だと認定された方となっています。ただし、事故や特定疾病以外の病気などが原因で介護や支

援が必要となった場合は、介護保険の対象となりません。

介護保険の加入者には、医療保険の被保険者証(健康保険証)とは別に介護保険の被保険者証が交付されます。新たに65歳になる方には、65歳に到達する月に交付されることとなります。第二号被保険者は、要介護・要支援の認定を受けた方や交付申請した方に交付されます。

この被保険者証は、介護保険の被保険者であることを証明するものであると共に、介護サービスを利用する際などにも必要となります。ただし、介護サービスを利用するためには、被保険者証だけでなく、前号(第85号)でお知らせした要介護認定を受けることが必要となります。

被保険者証の記載内容に変更があったときは、14日以内に区の介護保険課に届け出が必要です。

手作りのおいしい食事をどうぞ

瀬野事業所には一つのことわりがあります。それは、私たち介護職員がお客様の好みや健康などを考え、一生懸命調理に当たっていることです。じらく房には他の施設のように大きな厨房もなく、専門の調理員もいません。あるのは創意工夫と、お客様にいい食事を提供したいという心意気です。それは職員共通の熱い思いです。

昼食は当日勤務の職員が交代で、お客様、職員合わせて多い時には30人分の調理を行います。家庭の台所で、30匹の焼魚や30人分の手作りハンバーグを作る様子を想像してみてください。

衛生面には細心の注意を払っています。全職員の毎日の体調確認や、定期検便。調理場に入る職員は、衛生管理表に基づいて、食中毒予防を念頭に調理器具、机・膳の消毒などを行っています。

私たちの一番の喜びは、できたての料理を熱いうちに召し上がっていただけること。少人数での手作りのため、そ



の日の体調に合わせて柔軟に食事形態の変更も可能です。

職員の手が足りない時は、お客様が大活躍!昔とった杵柄で、包丁片手にサツとジャガイモの皮をむいたり、サヤインゲンの筋を取ったりとお手伝いをしてくださいます。夕食と朝食は、夜勤者が約10人分の調理を担当。ほとんどが男性職員で自宅での調理経験がなく、料理本を片手に努力してきました。以前は「辛い」「のどが渇く」などの声もありましたが、今では男の料理の評判も上々で、「おいしいね」とお褒めの言葉をいただくようになりました。

6年目を迎える「瀬野じらく房」。今後も全てのサービに満点がいただけるよう、努力していきたいと思えます。

瀬野事業所(じらく房)

〒739-0311 広島市安芸区瀬野一丁目3番1号  
TEL (082) 894-2255 小規模多機能型居宅介護  
TEL (082) 894-2200 デイサービスセンター  
FAX (082) 894-2266 E-mail/senojirakubou@jiraku.or.jp

- 小規模多機能型居宅介護
- 認知症対応型
- デイサービスセンター

7・8月行事

- 落合地区夏祭り
- 料理クラブ
- 地域交流会 (5周年記念)
- 誕生日会

